

# 議 会 広 報

## 常陸大宮市

### 第 49 号

平成29年 2月10日  
発行 常陸大宮市議会



#### ● 主な内容

第4回定例会 .....	P 2～P 3
議決一覧 .....	P 4
議会議員倫理審査特別委員会報告 .....	P 6
常任委員会審査 pick up .....	P 8～P 9
一般質問 .....	P11～P15
まちかどから .....	P22



新春 始動！ ～第6回常陸大宮クロスカントリー大会より～



H29  
4.1  
から

# 行政組織機構改編

※市長部局と併せて教育委員会組織も改編  
○文化スポーツ課を創設し、  
学校教育課・生涯学習課の3課体制

- 地域創生部の創設と支所の編入
- 市民部を市民生活部に名称変更
- 保健福祉部にこども課の創設
- 経済建設部の分割
- 産業観光部
- 建設部

改編される主な組織機構

市長部局

1室7部体制で  
すぐ対応課除く

## 第4回 定例会

会期  
12月7日から  
21日まで

各会計補正予算  
7件

条例改正  
6件

事業委託  
1件

指定管理者指定  
1件

市道路線廃止  
1件

人事案件  
2件

議員提出議案  
1件

動議  
3件

すべて原案  
どおり可決

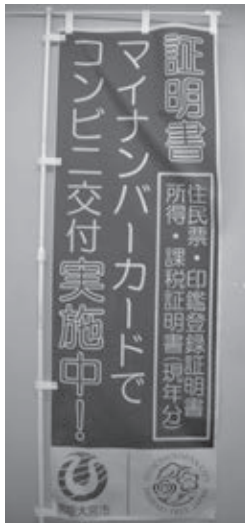
特別委員会報告  
1件

マイナンバーカードを利用した印鑑登録証明書のほか一部諸証明などの自動交付サービスを平成29年2月1日からスタートします。

### 市印鑑条例の一部改正

議案第135号

コンビニエンスストア等  
自動交付サービス



マイナンバー

給付に関する要件を見直し、常陸大宮市奨学資金等貸与条例によるものを除き、他の制度による奨学資金の給付または貸与を可能とします。

### 給付条例の一部改正

議案第136号

長山景樹特別奨学金  
給付条例



御前山総合支所に建つ  
長山景樹氏のレリーフ

## 常陸大宮市職員の給与に関する条例等の一部改正

● 人事院勧告に基づき、国家公務員の給与の改定等が行われたことを踏まえ、国に準じた措置を講ずるにあたり、条例の一部を改正します。（このほか3条例の一部を改正）

概要 ①月例給及び特別給の改定 ②一般職等に係る扶養手当の見直し  
③一般職等に係る介護休暇制度の拡充等

議案第138号

### 指定管理者の指定

平成29年3月31日で指定管理期間が満了する温泉温浴3施設、やまがたすこやかランド三太の湯、ごぜんやま温泉保養センター四季彩館、美和ささの湯の指定管理者を常陸大宮市温泉事業株式会社に指定するものです。  
平成29年4月1日から平成32年3月31日まで（3年間）



四季彩館



ささの湯



三太の湯

議案第139号

### 市道路線の廃止

用途廃止申請により、公共の用に供する必要がなくなったと認められる路線です。

● 廃止

1 路線

山方地域

盛金字中坪

⑤—506号線



## 議案第147号、148号

### 人事

任期満了に伴い、再任に同意しました。

- 教育委員会委員 星野 幸子（2期目）H29.2.23～H33.2.22（4年）
- 人権擁護委員 鈴木 泰全（6期目）H29.4.1～H32.3.31（3年）

# 平成28年第4回定例会議決一覧

議案番号	件名	付託委員会	議決結果
議案第131号	常陸大宮市行政組織条例 ＊全部改正	総務	可決
議案第132号	常陸大宮市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	総務	可決
議案第133号	常陸大宮市税条例の一部を改正する条例	総務	可決
議案第134号	常陸大宮市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	総務	可決
議案第135号	常陸大宮市印鑑条例の一部を改正する条例	総務	可決
議案第136号	常陸大宮市長山景樹特別奨学金給付条例の一部を改正する条例	文教福祉	可決
議案第137号	相互救済事業の委託について		可決
議案第138号	指定管理者の指定について ＊温泉温浴施設	経済建設	可決
議案第139号	市道路線の廃止について（⑤-506号線）		可決
議案第140号	平成28年度常陸大宮市一般会計補正予算（第3号）	予算決算	可決
議案第141号	平成28年度常陸大宮市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	予算決算	可決
議案第142号	平成28年度常陸大宮市公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）	予算決算	可決
議案第143号	平成28年度常陸大宮市農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）	予算決算	可決
議案第144号	平成28年度常陸大宮市介護保険特別会計補正予算（第2号）	予算決算	可決
議案第145号	平成28年度常陸大宮市戸別浄化槽整備事業特別会計補正予算（第1号）	予算決算	可決
議案第146号	平成28年度常陸大宮市温泉事業特別会計補正予算（第2号）	予算決算	可決
議案第147号	教育委員会委員の任命について（鷹巣 星野 幸子氏）		同意
議案第148号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて（山方 鈴木 泰全氏）		同意
議提第5号	奨学金制度の改善と教育費負担の軽減に関する意見書		可決
動議	川上博議員に対する議員辞職勧告の動議		可決
動議	岡崎榮一議員に対する議員辞職勧告の動議		可決
動議	岡崎欣也議員に対する議員辞職勧告の動議		可決

## 討論

### 議案第131号 常陸大宮市行政組織条例

✿ 討論とは…議題になっている案件の「賛成」「反対」について、理由を明確に述べながら賛否を議論すること。

#### 反対

金子 卓 議員

「総合支所」を「支所」にする内容を含んだ条例です。総合支所は存続させると言い続けてきたにもかかわらず、今議会に突然提案してきました。このことを知った地域住民から、「住民サービスの低下ではないか」と不安の声が出されているのも当然です。

4地域の住民にとって、合併以来の大変化にもかかわらず、事前の住民の方への説明はありませんでした。このことも大変な問題です。以上の理由から、常陸大宮市行政組織条例に反対するものです。

#### 賛成

坂本 繁輝 議員

本条例は、より効率的な組織体制の構築を図ることはもとより、社会情勢の変化や地方創生等の新たな行政課題に対応するため、地域創生部の創設をはじめ、総合支所の在り方を含めて、市の組織体制を抜本的に見直すものです。

よって、次年度から始まる新たな総合計画に基づく施策を効率的かつ効果的に推進する組織体制が確立され、その実現が図られるものと期待し賛成します。

採決の結果、賛成多数で可決されました。



## ◆賛否の分かれた議案等

議案番号	件名	議決結果	議員名																			
			黒部博英	小原明彦	大瀧愛一郎	岡崎欣也	三次弘史	坂本繁輝	富山和男	大貫道夫	小森敬太郎	吉川美保	小森敏雄	田沢祐男	川上博	武石寿長	高村和郎	岡崎榮一	淀川茂樹	掛札行雄	秋山信夫	金子卓
議案第131号	常陸大宮市行政組織条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	⊗ <sup>1)</sup>	○	○	○	○	●
議案第135号	常陸大宮市印鑑条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
動議	川上博議員に対する議員辞職勧告の動議	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	除斥	○	○	○	○	○	○	○	○
動議	岡崎榮一議員に対する議員辞職勧告の動議	可決	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
動議	岡崎欣也議員に対する議員辞職勧告の動議	可決	退席	●	●	除斥	退席	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○：賛成 ●：反対 ⊗ 1) 『-』は議長は採決に加わりません。

⊗ 2) 今回の動議については、各議員の一身上に関する事件であるため、地方自治法第117条の規定により除斥となる。

### 動議とは

議会の会議進行、手続等に関し、議員から議会に対して出される提議。



### 地方自治法第117条とは

普通地方公共団体の議会の議長及び議員は、自己もしくは父母、祖父母、配偶者、子、孫、もしくは兄弟姉妹の一身上に関する事件または自己もしくはこれらの者の従事する業務に直接の利害関係のある事件については、その議事に参与することができない。ただし、議会の同意があったときは、会議に出席し、発言することができる。

辞職勧告とは…議会において議員に対し、辞職を求める決議を行うこと。

法的拘束力はないため、勧告に従わなくとも、法律上問題はない。

# 議会議員倫理審査特別委員会報告

## 1 【設置の経緯と目的】

8月10日、臨時会において、本市議会委員会条例・議会先例および申合わせを遵守し、正副議長選挙と常任委員会の改選が行われた。

しかし、正副議長選挙において、複数の議員から「物品供与の疑い」や、委員会構成や正副委員長互選についての「役職供与の疑い」等の発言が出されたため、議会運営委員会が開催され、議員倫理審査特別委員会を設置し、議員の倫理姿勢の疑義について調査する旨の提案があり、本会議において可決され設置した。

## 2 【審査事項】

- ①物品の授受について
- ②委員会の役職供与について

## 3 【期間・開催回数】

・8月16日から12月7日 15回開催

## 4 【委員会の構成】

・8月16日から11月28日まで  
委員長 岡崎 欣也（11月28日辞職）  
副委員長 大瀧愛一郎（11月28日辞職）

・11月28日 正副委員長の交代  
委員長 小森敬太郎  
副委員長 武石 寿長

委員 18名議員  
（当時の川上博議長、小森敏雄副議長を除く）

## 5 【審査の結果】

①物品の授受等について  
物品を配った議員  
川上 博

・家族等を含め、物品の授受を認めた議員  
三次弘史、小原明彦

・物品の授受に疑義のある議員  
岡崎欣也、大瀧愛一郎

・物品の受け取りを拒否した議員  
大貫道夫

・事実内容の口止めを指示した議員  
岡崎榮一  
（富山和男、三次弘史、小原明彦議員の証言）

②委員会の役職等への供与について  
臨時会の前日、委員会委員長職の就任依頼をした議員  
岡崎榮一  
（大瀧愛一郎議員の証言）

・8月10日から8月30日までの正副委員長は委員互選によるが、1期生を中心とした偏りの著しい構成であったが、役職の供与については確定に至らず

## 6 【委員会の意見】

今回の審査対象となった事態はあってはならないことであり、常陸大宮市議会の名誉を著しく毀損し、市民の信頼を大きく失墜させたことは、誠に遺憾である。当事者には反省を促すとともに、議会としても真摯に受け止め、議員として疑惑・疑念を持たれることのないように襟を正していくとの結論に至った。同時に市民の信頼と信用のもと、二元代表制の一翼を担うべく市議会が丸となり、市政発展のためその職責を全うしていく覚悟である。

問題となった物品の授受については、一部の議員において事実が確認されたものの、役職の供与については確定するまでには至らなかった。

また、審査が長引いた要因には、記憶の曖昧さによる発言の正確さや、議員の資質を疑われるような不穏当な発言等があったことは否めない事実である。

以上のようなことから今後の防止策として、議会においては公職選挙法をはじめ、議員として身につけておくべき事項について研修等による自己研鑽と再確認が必要であり、これらを実施する中で市議会全体の共通認識とし、議員の資質向上に努めるものとする。

# 平成28年度補正予算



会計名	補正額
一般会計（第3号）	5160万5千円
国民健康保険特別会計（第2号） 診療施設勘定	278万1千円
公共下水道事業特別会計（第2号）	549万2千円
農業集落排水事業特別会計（第1号）	▲700万8千円
介護保険特別会計（第2号）	7238万8千円
戸別浄化槽整備事業特別会計（第1号）	▲19万1千円
温泉事業特別会計（第2号）	450万円

## 主な内容

### 一般会計

#### ○東京オリンピック・パラリンピック 推進事業 236万9千円

パラオ共和国選手団の事前キャンプ地誘致を宮城県蔵王町と連携して取り組むものです。



#### ○フィルム コミッション事業 134万9千円

県北西部を舞台とする連続テレビ小説「ひよっこ」を活用し、観光誘客や情報発信などを行い、地域活性化を図るものです。



#### ○放課後児童健全 育成事業費委託料 890万6千円

子ども子育て支援法の開設日数等の基準額が改正され、5クラブに対し増額するものです。

#### ○病児保育事業費補助金 925万4千円

新たに病児保育事業を実施する2施設に補助するものです。



#### ○中山間地域農業基盤整備促進事業費補助金 874万2千円

生産条件の不利な水田から畑地へ転換するために行う基盤整備に対して補助するものです。



## 総務

◎田沢 祐男 ○坂本 繁輝  
掛札 行雄 岡崎 欣也  
金子 卓  
小原 明彦

◎委員長 ○副委員長

**Q** 支所の職員数、窓口事務、支所長の議会出席はどうなるのか  
**A** 一部の事務は本庁に移管します。職員については、10名程度で多岐にわたる業務に精通した職員を配置します。なお、議会本会議には、組織機構の見直しにより地域創生部長が出席します。

**Q** 地域創生部の人数はいつ頃決まるのか  
**A** 職員の新規採用、再任用が決まってからで、概ね1月中旬頃です。

**Q** マイナンバーカード利用者数の試算推定及び管理方法は  
**A** 11月30日現在でマイナンバーカードの申請受付件数3650件、交付件数2723件です。近隣市町では10%の利用実績があるので、年間365件程度の利用を見込んでいます。なお、カード保持者へは広報紙等により、紛失しないよう注意喚起します。



## 文教福祉

**Q** 常陸大宮市長山景樹特別奨学金給付制度で、出身高校の限定がない大学生枠の申込者は、今年度何人いたのか

**A** 募集人員2名のところ5名の応募がありました。

**Q** 長山景樹特別奨学金給付制度の周知方法についてはどのように行っているのか

**A** 市の広報紙・お知らせ版、ホームページの掲載をはじめ、訪問により市内の中学校・高校への募集内容の説明、国・県等の奨学生募集案内関連コーナーへの掲載等を行っています。

※長山景樹特別奨学金給付制度

郷育立市の基本である「郷土を愛し慈しむ心の醸成」と「郷土でも輝くことのできる人づくり」に資するため、優秀な生徒・学生の方に奨学金を給付し学資の支援を行う給付型奨学金制度です。

✿ 給付型奨学金とは…返還の必要のない奨学金です。

◆募集人数・給付額・給付期間

在学する学校		募集人員	給付額	給付期間
市内高等学校	常陸大宮高等学校	2名以内	月額1万5千円	3年以内
	小瀬高等学校	2名以内		
大学	常陸大宮高等学校出身者	1名以内	月額5万円	4年(6年)以内
	小瀬高等学校出身者	1名以内		
大学(出身高校の限定なし)		2名以内	月額3万円	

※常陸大宮市奨学資金等貸与条例によるものを除き、他の奨学資金制度と併用可能

◎小森 敏雄 ○三石 弘史  
富高 和郎 寿長 秋山 信夫  
山村 和男 美保

◎委員長 ○副委員長



## 経済建設

◎委員長 ○副委員長

◎大貫 道夫 ○黒部 博英 淀川 茂樹  
 岡崎 榮一 川上 博 小森敬太郎  
 大瀧愛一郎

**Q** 指定管理料はどのような根拠で算出するのか

**A** 更新時の指定管理料の算定については、収入見込み額と支出見込み額の差額を基本に算定します。

**Q** 指定管理料が昨年より増えているようですが老朽化に伴う修繕料を見込んだものですか

**Q** 温泉事業株式会社の3施設（三太の湯・四季彩館・ささの湯）の就業規則は統一になっているのか

**A** 就業規則は、温泉事業株式会社に統一されていますが、パートの賃金等に多少の差があります。



三太の湯



四季彩館



ささの湯

## 予算決算 (補正予算)

**Q** 民生費 地域子育て支援センターの4園及び病児保育事業に加わる新たな事業所について

**A** 地域子育て支援センターの委託先は、さくら保育園、御前山認定こども園、大宮聖愛保育園、緒川げんき保育園の4か所です。

病児保育については、学童保育子コロッコロ、御前山認定こども園の2か所が対象となっています。

**Q** 民生費 生活保護費の2,000万円の扶助費について

**A** 生活扶助費見込み額540万円の増、住宅扶助費140万円の増、介護扶助費20万円の増、医療扶助費1,400万円の増額となっています。また、施設事務費100万円の減額です。

**Q** 生活保護受給者人数は

**A** 現在280人程度です。

**Q** 農林水産業費 中山間地域農業基盤整備促進事業について

**A** 本事業は、田から畑に用途転換を促進する事業で、作物の作付に関しては、緒川地域（那賀地内）では、ナスを作付け、また、大宮地域（東野地内）では、梅の植栽を予定しています。

◎ 武山 秋山 小岡 大岡 岡崎 黒部  
 長 夫 一 雄 也 英 博

○ 坂本 掛川 川上 吉山 富山 大瀧  
 本 札 上 川 山 愛 一郎

○ 繁輝 行博 美保 田沢 小森 小次 三原  
 卓 輝 博 雄 敬 史 彦

◎委員長 ○副委員長

# あなたが出された 請願・陳情は！

## 請願

番号	件名	提出者	紹介議員	付託委員会	結果
第4号	岩崎地内市道1051号線、1054号線、1055号線拡幅改良に関する請願書	岩崎区長 海老根進一郎 ほか12名	金子 卓	経済建設	採択
第5号	家和楽地区市道566号線の道路拡幅に関する請願書	家和楽区長 吉成 猛 ほか48名	三次弘史 岡崎欣也	経済建設	採択
第6号	「奨学金制度の改善と教育費負担の軽減に関する意見書」の採択を求める請願書	日本労働組合総連合会 茨城県連合会 常陸野地域協議会 議長 桑名勝弘	大貫道夫	文教福祉	採択
第7号	「高額療養費」「後期高齢者の窓口負担」の見直しにあたり、現行制度の継続を求める意見書の採択を求める請願	一般財団法人 茨城県保険医協会 代表理事 宮崎三弘	金子 卓	文教福祉	継続審査

## 議員提出議案

### 議提第5号

### 奨学金制度の改善と教育費負担の軽減に関する意見書

わが国では、1998年以降下がり続ける保護者の賃金収入と、相反して上がり続ける大学の学費により、学生は奨学金を借りなければ大学に通うことが困難になっています。奨学金制度を運用する「独立行政法人日本学生支援機構」によれば、2014年度実績では135万人（無利子奨学金47万人、有利子奨学金88万人）が同機構の奨学金を利用しています。これは、全国の大学生のほぼ2人に1人にあたります。卒業後も含めた学生を取り巻く環境の変化からすれば、奨学金の無利子化が望まれるところであります。

他方で、大学卒業後には3人に1人の学生が非正規雇用となっており、2015年4月には、返還猶予期間が5年から10年に延長されたものの、奨学金を借りた8人に1人が返済の滞納や猶予の状態にあるとされています。また、国立大学の授業料を含め授業料が値上げの傾向にあります。

こうした実態は、学ぶ意欲と能力をもった貧困世帯の子どもが、高等教育を受けることにより相対的に高い職業能力を身につけたとしても、貧困から脱することができない状況を生む可能

性を示唆しています。

こうした現状に鑑み、本議会は政府に対し、下記の事項を強く要望します。

1. 貸与型奨学金は無利子とし、延滞金は廃止（廃止までの間、返済金は元金・利息・延滞金の順に充当）すること。また、所得に応じた無理のない返済制度をつくり、返済困難者の実情に即して適切な救済を行うこと。
2. 貸与型から給付型へ、奨学金制度を改善し、大学等において国の給付型奨学金制度を導入すること。
3. 大学等の学費の引き下げや授業料減免の拡充等を図ること。

### 提出先

衆議院議長 大島 理森 様  
参議院議長 伊達 忠一 様  
内閣総理大臣 安倍 晋三 様  
文部科学大臣 松野 博一 様



# 一般質問

# 市政を問う

今回4人の議員が登壇し、  
さまざまな視点から市政を問いました。

## 金子 卓 議員 ..... P12

- ◇東海第二原発について
- ◇政治倫理条例について
- 公共事業の発注について
- 市情報の発信について

## 吉川 美保 議員 ..... P13

- ◇次期市総合計画（案）と組織機構改編（案）  
平成28年度行政監査結果報告書について
- ◇諸課題について

## 小原 明彦 議員 ..... P14

- ◇結婚応援事業について
- ◇小場城跡について
- ◇県北芸術祭について

## 大貫 道夫 議員 ..... P15

- 予算編成について
- 組織再編等について
- 農林業の振興について
- ◇今後の医療・介護の展望について

◇一般質問の掲載記事は、発言議員本人からの寄稿によるものです。

### 一般質問とは...

定例議会において、各議員が住民の代表として、市の行政全般にわたり市当局の考え方や疑問をたずねることです。

単に疑問をはらし、事実関係を明らかにするだけでなく、現行政策の見直しや新規政策を提言する議員の重要な活動です。





金子 卓 議員

### 東海第二原発過酷事故の避難計画について

市民部長／年度内の策定は厳しい

11月28日付「茨城新聞」は「自治体の避難計画づくりも難航している。対象となる原発から半径30キロ圏の住民は全国最多の約96万人にのぼり、県外の受け入れ先市町村はまだ決まっていない。要配慮者の支援体制に加え、大地震などの複合災害を想定していない点など多くの課題が積み残されている」と書いています。 当市の広域避難計画について、現在までの進捗状況と、今後のスケジュールをお聞かせください。

#### 市民部長

現在、茨城県と栃木県の両県が間に入って避難先自治体と受け入れ可能人数や避難ルートの調整等を行っています。また、より次第、避難先自治体と避難所に関する協定の締結を行い、避難者の輸送方法、輸送車輛の確保、避難経路の設定等々検討して、避難計画の策定を進める予定です。



住宅街に隣接する東海第二原発

#### 市民部長

現在進めている避難計画は、原発単独の災害を想定しています。当然のことながら地震などによる複合災害も想定した計画の必要性は認識しています。

現在の避難計画は単独災害を想定しての策定と言われていますが、複合災害との違いを説明してください。また、当市の避難計画の完成時期はいつ頃と考えているのでしょうか。

完成時期ですが、まだ避難先等の決定がいつになるか見込めていませんので、年度内の策定は厳しいものがあると感じています。

### 政治倫理条例について

市長／今後の検討課題

市議会は8月の議長選挙で議員の政治倫理に反する不祥事がおきてしまいました。市の政治倫理条例の概要をお聞かせください。

#### 総務部長

市政の担い手である市議会議員の政治倫理基準を規定しているもので、合併前の大宮町において議員提案により制定された条例です。

#### 市長

県内の動向等を注視しながら、今後の検討課題という考え方をしています。

平成28年1月現在で県内33自治体が条例を制定しており、そのうち22自治体が首長等も対象としています。当市も、市長等も対象とした政治倫理条例を策定すべきと思いますが、考えをお聞かせください。

## 子ども課創設にあたり、 子どもの総合的支援とは

保健福祉部長／ライフステージに  
応じた切れ目のない支援

本市子ども課創設にあたり、保健福祉部と教育委員会双方に三条市の子ども支援体制の見解を伺います。

### 保健福祉部長

三条市においては、乳幼児から就労に至るまで総合的に必要な支援を行うため、市民の側に立ったワンストップ窓口を実現することを目的とし、保健福祉部と教育委員会に分散されていた業務を一つにしたことで、切れ目のない一貫した支援がなされているようです。

保健福祉部内に新設される子ども課においても切れ目のない支援に努めていくとともに、三条市の取り組みを参考にして、どのような対応ができるか検証したいと考えています。

### 教育長

子育てに關しては、総合的に必要な支援をするこの重要性は以前から指摘をされ、大きな課題でありました。その意味で三条市が重要な課題に対して組織改編をして具体的に取り組み、成果を上げていることは非常に画期的だと考えています。

現在、教育委員会としては支援を必要とする児童生徒の支援を積極的に進めています。今後、創設される子ども課や関係機関とこれまでに以上に連携を深め、継続的な子育て支援を視野に入れていきたいと考えています。そのためにも、三条市の子育て支援をしつかりと検証していきたいと考えています。

## 奥久慈漆や那須楮の 活力の方向性は

経済建設部長／振興組織体制で進めることが重要

誇るべき地域資源「奥久慈漆」「那須楮」をどう支援していくのか伺います。

### 経済建設部長

文化庁が文化財の修復に国産漆使用と、生産に携わる人材育成を進める方針を示したことを最良の機会と捉え、県がいばらき漆振興コンソーシアム生産部会を立ち上げています。これら関係機関と連携して生産拡大に取り組みます。那須楮の振興には、生産する栃木県との広域化組織が必要と考えています。



美濃等に出荷される本市生産の那須楮

那須楮：  
江戸時代から当地産の楮は栃木県那須郡南部に集積され、鬼怒川を利用して江戸に運ばれたため、今も茨城産の楮はこの名称で呼ばれている。

吉川 美保

議員



小原 明彦

議員



## 結婚応援事業については

保健福祉部長／婚活パーティーの参加率を向上させていきます

中央大学の文学部教授は「恋愛は人として大きな発見や成長がある素晴らしい体験であり、うわさの対象などにするのではなく温かいまなざしを育む環境を整備するべき」と言っています。このような意義も踏まえて県と地元地域と本市との相互協力の連携的な支援について伺います。

田市、大子町のサポートで合同の結婚相談会を開催しています。また、民生委員との連携は、日常的に登録者情報の交換を行います。

元気ひたちおおみや結婚応援事業の、これまでの検証を踏まえた今後の展望について伺います。

充実させ、参加率を向上させていきます。

## 小場城跡に友好都市協定の案内看板設置については

市民部長／課題はありますが検討していきます

歴史的意義をとどめる小場城跡に史実として、また、大館市との友好都市協定を締結した象徴として案内看板を設置することで理解と感動を与えられる憩いの場としてはどうか伺います。

### 市民部長

友好都市協定締結までの経緯等を記した看板を設置することは、交流に対する理解を深められるものと考え、課題はありますが検討していきます。



友好を確かめ合う  
大館市の「はちくん」と「ひたまる」

## 県北芸術祭については

市長／次回以降の開催について要望していきます

県北芸術祭の開催は、地域の活性化に文化振興に大変に有意義なものであったと確信し、継続的な開催を重ねる中で市民の皆様を、そして常陸大宮市を元気にしていけるように県への働きかけも強く要望しながら今後の考え方、構想について伺います。

### 市長

今回の芸術祭は県北振興につながる大変に素晴らしい取り組みであったと思いますので、次回以降の開催について県北6市町が連携し茨城県知事や関係機関に対し要望していきます。

### 保健福祉部長

県のマリッジサポートの連携については、市内在住のサポートや近隣のサポートと情報交換を行い、常陸大宮市、常陸太

### 保健福祉部長

身だしなみや基本的な事項の情報提供も考えていきます。また、婚活パーティーは女性が興味を持つよう検討して、内容やPRを



## 市の医療資源は

保健福祉部長／一体的、継続的に必要なサービスを

市の医療資源の現状については。

### 保健福祉部長

常陸大宮市内の病院等の医療機関の現状は、常陸大宮済生会病院ほか18施設ですが、そのうち在宅医療を行っている医療機関は、国民健康保険美和診療所とひたちおおみやクリニックの2か所です。訪問看護に

大貫 道夫

議員



については、現在、博仁会のおおみや訪問看護ステーションと芳栄会の訪問看護ステーションわかばの2事業所、訪問介護については、常陸大宮市社会福祉協議会訪問介護事業所ほか8事業所で実施しています。また、身近な医療サービスから高度な医療サービスまでの地域医療体制の充実や、介護と医療を必要としている方には、利用者が切れ目なく一体的・継続的に必要なサービスが提供できるよう、地域包括ケアシステムの構築に努めることを基本目標としています。

## 県の地域医療構想は

保健福祉部長／その方向性は市の実情に合致する

県の地域医療構想の検討が進められています。当市は非常に高齢化が進んでおり、県構想の考え方、その方向性に齟齬はないか。

### 保健福祉部長

県の地域医療構想は、いわゆる団塊の世代が75歳以上を迎える2025年に向け、病床の機能分化・連携を進めるために、医療機能を高度急性期、急性期、回復期、慢性期の4つに分類し、その機能ごとに2025年の医療需要と病床の必要量を現行の二次保健医

療圏単位に推計して定め、本市を含む常陸太田・ひたちなか地域医療圏構想区域の現状と課題は、医療資源が不足しており、傷病全般にわたって隣接する水戸・日立構想区域に多くの患者が流失していること、高度急性期、急性期については、隣接する構想区域との連携が必要である一方、回復期や在宅医療については、構想区域内で対応できるようにしていくこと、さらには、医療従事者数が県平均を下回っており、担い手不足が深刻化する懸念が

あることなどとされています。市としての方向性は、医療資源の不足や在宅医療の担い手である診療所医師の高齢化などが指摘されており、関係機関の相互連携が必要で、また、隣接する水戸・日立構想区域の高度急性期、急性期病院との協力的体制の確立のほか、在宅医療等の充実や医療従事者等の養成・確保が課題とされています。当構想で示された課題解決に向けた施策、今後の検討の方向性は、当市の実情におおむね沿ったものです。これらを踏まえて、地域医療の充実に努め、市民が安心できる医療体制の充実を図ることが重要であります。

# 先進地を視察

## 総務常任委員会

10月31日～11月1日

### 神奈川県藤沢市

#### シティプロモーションについて

シティプロモーションとは、都市の魅力やイメージを効果的かつ継続的にアピールすることで、都市のブランド価値（都市としての優位性）を高め、都市を発展させていく取組です。藤沢市においても、都市のブランド価値を高めることによって「知名度」や「存在感」が向上し、持続的に活性化していくことを目的としています。藤沢市に対する愛着度意識調査では「とても好き」と「やや好き」と回答した方が97%、また今後の定住意向については「このまま住み続けたい」「まだしばらく住み続けたい」と回答した方が97%で今後も藤沢市に住み続けたいと考えています。シティプロモーションに期待する効果は、伝統、文化、自然の魅力や価値を思い「郷土愛」が高まり知名度向上により、産業、企業への信頼感や商品の付加価値が高まり収益が期待されます。また、都市としての優位性が高まり人・モノが強化され、交流、定住人口の増加等につながり、さらに、商店街、市街地の活性化、企業進出、地元企業の業績向上による市税増収が期待できます。



#### 委員会意見

本市の地方創生の観点から過疎地ほど課題は大きいですが、市民の理解をいただいで多くの著名人、市民が一体となって積極的な執行部のやる気と市民中心の計画で本市を他市町村にアピールするため、シティプロモーションを次期常陸大宮市総合計画の中で情報収集発信事業として取り上げて進めるよう提言します。



### 千葉県君津市

#### 公共交通システムについて

君津市の公共交通は、西部にJR内房線、東部に久留里線が南北方向に配置されているほか、民間事業者による路線バスやタクシー、行政によるコミュニティバスやデマンドタクシーなど多様な公共交通が運行されています。君津市は地域が広く、地理的条件や鉄道網の関係などから、自家用車の利用を前提としたライフスタイルが定着しているため、公共交通の利用者は減少傾向にあり、公共交通を維持・確保するために公費負担が高額となっています。一方、少子・高齢化の進展等に伴う交通弱者の増加により、公共交通の重要性はこれまで以上に高くなることが予想されることから、行政・交通事業者・市民の役割分担と協力のもと、地域実情に応じた公共交通のあり方を検討する必要があります。これらの現状を踏まえ、「君津市総合計画」に掲げる将来都市像を実現するため、「都市計画マスタープラン」等各種関連計画と整合等を図り地域公共交通施策に取り組みました。



#### 委員会意見

君津市のデマンドタクシーは平日だけでなく、土・日・祝日も運行されており、また市外の人も利用できます。近年自家用車を利用する人が多くなっていますが、JR鉄道が2路線運行され、広大なエリアを通勤・通学路線バス、デマンドタクシー等が利用しやすく運行されています。本市では、昨年市民バスの運行見直しにより、便数を週3便から週2便に減らしましたが、依然として空車で運行されているのが目に付きまします。このような中、路線バス、スクーターバス、公共交通と共用するコースがあります。本市の公共交通の見直しについて、効率の良いデマンドタクシーに移行するよう提言します。





## 新潟県三条市

### 子育て支援について

#### 子ども・若者総合サポートシステム事業について

三条市は、平成20年4月に組織機構の見直しにより、これまでの厚生労働省や文部科学省の縦割り行政から一転、担当がひとつになり、教育委員会に「子育て支援課」を設置し、義務教育と子育て支援の連携を図りました。平成25年4月、同課に子どもの育ちの段階に応じた、きめ細やかな支援を継続的に行う教育機関として、「子どもの育ちサポートセンター」を設置しています。

子ども・若者という「三条市民」を乳幼児から就労に至るまで、切れ目なく総合的に必要な支援を行うため、市がその情報を一元化し、関係機関が連携して個に応じた支援を継続的に行えるようにするシステムです。ライフステージに応じた切れ目のない一貫した支援を、三条市医師会等32の関係機関が連携して実施しています。

子ども・若者総合サポートシステムの平成27年度の把握件数では、虐待が127人、非行が51人、不登校が105人、障がい者が679人、ひきこもりが7人という状況であり、年々把握件数は増加傾向にありましたが、今後は下向すると予想しています。このシステム事業が多くの保護者から理解・認識されることで、この事業のデメリットは0であり、メリットのみの事業であると担当職員から自信のこもった発言がありました。

### 委員会の意見

本市の機構では、「子ども・若者」に対応する部署は分散しています。特にひきこもりに関しては、実際に把握が困難でもあることから、皆無です。一方、「子ども」に関して保健福祉部と教育委員会が両方で係わるのは、就学時健診、食育関係、小児・成人病健診等であり、平成29年度保健福祉部に新設される子ども課には、幼稚園が加わることとなります。

本市においても子育て支援は、総合戦略の重要テーマであり、特に義務教育の中学校を卒業後は、とかく支援が行き届かなくなりがちですが、ひきこもりやニートを含めて自立まで一貫して支援していくこととの三条市の思いと取り組みは素晴らしいものがあります。本市の子育て・若者支援のさらなる充実に活かしたいと思えます。



## 新潟県新発田市

### 健康づくり事業について

#### めざせ100彩健康づくりについて

新発田市では、第二次健康づくり計画（平成28年度～平成37年度）の策定にあたって、保健自治会、食生活改善推進委員協議会、めざせ100彩健康づくり推進実行委員会と座談会を開催し、市民の意見を反映させた「めざせ100彩」をスローガンとする健康づくり計画を提示しました。生活習慣病予防を目指し、健康づくりを応援する3人組のヒーロー「100彩マン」は、誰もがいくつになっても自分らしく彩りある暮らしを送れるよう、「めざせ100彩」を合言葉に幼稚園やイベントなどに参加して、食事・運動・健康管理の大切さを分かりやすく伝え、「健康づくりの芽」を育てる「100彩マン食育教室」という活動を続けています。健康ウォーク事業では、友達や家族・地域・関係団体と連携を図り、より多くの市民がこの事業に参加されるよう、一か月20万歩を目標に、歩く楽しさや運動習慣の定着などの取り組みも奨励しています。子どもから高齢者までが実施事業に参加できるように、計画策定時においては、市民の声をもとにきめ細かく無理のない楽しい事業となるような創意工夫が垣間見られます。健康ウォーク事業の一例として、スパーなどへ行った場合には、できるだけ遠くに車両を駐車し「歩くことに心がける」という些細なことですが、誰にも認識していただきたい印象的な一言でした。

### 委員会の意見

急速な高齢化と生活習慣病の著しい増加に伴い、寝たきりなどの介護が必要な状態が引き起こされ、医療費の増大などが大きな課題となっています。現在、新発田市は、健康づくり事業を進めています。その目的達成のため、3人組のヒーロー100彩マンが、市独自の歌や踊りを子どもたちと一緒に楽しんで、健康づくりを応援することによって、子どもから高齢者まで多くの市民がこの事業に参加しやすくしています。子どもから高齢者まで誰もがいくつになっても自分らしく彩りある暮らしを送るため、本市の健康づくり事業のさらなる充実に活かしたいと思えます。





## 兵庫県宍粟市

### 林業の振興について

宍粟市は、平成17年4月1日に、4つの町が合併して誕生した市です。市の面積の約9割（59094ha）が森林であり、民有林（46121ha）のうち、人工林（33749ha）が73%になっています。

現在は、林業の再生に取り組み必要があることから、「儲かる林業」と「災害に強い森林づくり」を目指しています。

平成28年春に、豊かな森林資源を活かして、住民や観光振興を目的に「森林セラピー事業」のガイドとして、地域おこし協力隊員の2名を採用し、「しそう森林王国観光協会」の事業として行っています。

また、兵庫県は、林業の振興等を通じた持続可能な森林経営の実現に向けて、宍粟市に兵庫県立森林大学校を平成29年度開設することとしています。

### 委員会の意見

市の面積の約9割を森林が占め、民有林の10歳級以上が66%と高いことなどを思料するに、木材資源の大幅な需要増加が必要であると考えられます。また、新たな取り組みとして「森林セラピー事業」や「宍粟50名山の指定」「スタンプラリー」も取り組みとして重要であり、特にガイドクラブなどボランティアの活躍などが期待されます。

本市でも、市の面積の約6割は森林であり、宍粟市の取り組みを参考にしつつ、本市独自の取り組みを進めることを期待します。



## 京都府宮津市

### 竹資源の有効活用について

宮津市は、第3次産業が70・9%と非常に高く、これは宮津市のシンボルである天橋立という観光資源を有していることに起因しています。しかし、

人口が減少し、高齢化・後継者不足等農林水産業が低迷し、財政状況は市税収入の減少などにより厳しい状況下にあることから、観光客と地域資源を活かした「みやづビジョン2011」と「竹林再生整備計画」を策定しました。

平成23年9月宮津バイオマスエネルギー製造事業所を竣工させ、竹のガス化発電及び液体燃料化の実証、事業化を目指し、平成26年度から竹の伐採・搬出・集材を開始しています。

### 委員会の意見

宮津市は竹林面積が617haと多く、竹林の有効活用の事業化ビジネスモデルの確立のため「世界初と言われる竹からのガス化の発電施設」としての宮津バイオマスエネルギー製造事業所を設置し、稼働させています。

竹の利活用は、本市においても、例えばバイオマス事業のチップ材としての活用や工芸美術品等に期待できると思います。

今回の行政視察においては、2万人以下の市でも市民力を巻き込んだ取り組みにより、大きな可能性への挑戦ができることを確認できました。



# 県立常陸大宮高校3年生47名が市議会定例会を傍聴しました

選挙権年齢が引き下げられたことを踏まえ、身近な諸問題から政治についての興味・関心を高め、公共的な活動に積極的に係わりようとする意欲や態度を育む目的として実施されました。



## 《傍聴しての感想》 ※一部抜粋

これまで特に市政について興味関心もなく、自分にはとても遠いものだと思っていました。しかし今回の傍聴で、婚活応援事業など市の少子・高齢化対策を具体的に知り、意外と自分の将来にも深く関係した内容が審議されており興味を持ちました。また、機会を見つけて市議会を傍聴してみようと思いました。

改めて投票の重要性が分かりました。自分の意見を代弁してくれる議員さんをしっかり選んで、自分の意見をきちんと市政に反映していただき、みんなが住みやすいまちづくりを、熱心な話し合いで実現していただきたいと思います。選挙権を持ったら、積極的に投票しに行きたいと思いました。

強く印象に残ったのは、常陸大宮市の未来・今後について、市長さんをはじめ議員さん市職員の多くの方々が、想像以上に丁寧に詳しく審議し、検討していたことです。今日の貴重な経験を活かして、自分も何かしら市に貢献していかなければと思いました。

議員さんや市長さん、職員の皆さんが決められた時間内で理路整然と熱心に質疑応答しているのを見てすごいなと思いました。これからの常陸大宮市の活性化、発展を目指してしっかりと話し合って欲しいと思います。

## 本会議・各委員会の議員出欠状況

平成28年1月から平成28年12月までの間に開催された、本会議（定例会・臨時会）・常任委員会等（総務・文教福祉・経済建設・予算決算・広報広聴常任委員会及び議会運営委員会）・特別委員会（予算審査・行財政改革調査・議員倫理審査・議員定数検討）の議員の出退(出席・欠席)状況(回数)をお知らせします。

議員名（議席番号順）	①本会議		⊗ <sup>1)</sup> ②常任委員会等		⊗ <sup>1)</sup> ③議会運営委員会		⊗ <sup>1)</sup> ④特別委員会	
	出席	欠席	出席	欠席	出席	欠席	出席	欠席
黒部博英	24	0	33	0	—	—	24	0
小原明彦	24	0	37	0	16	0	23	0
大瀧愛一郎	24	0	17	0	16	0	24	0
岡崎欣也	24	0	27	0	16	0	23	0
三次弘史	24	0	18	0	16	0	23	0
坂本繁輝	24	0	26	0	—	—	23	0
富山和男	24	0	19	0	16	0	24	0
大貫道夫	24	0	26	0	29	3	24	0
小森敬太郎	24	0	32	0	33	0	24	0
吉川美保	24	0	18	0	16	0	24	0
小森敏雄	24	0	33	0	46	0	21	1
田沢祐男	24	0	36	0	31	1	22	1
川上博	20	4	15	2	14	0	16	8
武石寿長	24	0	19	0	32	0	23	0
高村和郎	24	0	⊗ <sup>2)</sup> 20	0	33	0	⊗ <sup>3)</sup> 21	0
岡崎栄一	23	1	17	0	16	0	23	1
淀川茂樹	24	0	⊗ <sup>2)</sup> 14	0	31	1	23	1
掛札行雄	24	0	⊗ <sup>2)</sup> 16	0	32	0	23	0
秋山信夫	24	0	18	1	28	2	⊗ <sup>3)</sup> 12	4
金子卓	24	0	19	0	—	—	24	0

⊗ 1) ②と③と④の回数については、各議員の常任委員会、議会運営委員会及び特別委員会への委員就任状況により、また委員会の開催日が異なるため、出席回数が異なります。

⊗ 2) 予算決算常任委員会には、すべて高村議長は審査に加わりません。また、議会選出監査委員である、掛札議員と淀川議員は予算決算常任委員会の決算審査に加わりません。

⊗ 3) 特別委員会については、議長（該当委員会開催日に議長であった、秋山元議長、高村議長）は審査に加わりません。ただし、倫理審査特別委員会については、この限りではありません。

研

修

報

告

## 市町村議会議員セミナー

期 日：平成28年10月24日～25日

場 所：市町村職員中央研修所（千葉県）

演 題：「防災と危機管理一期待される地方議会の役割一」ほか

講 師：明治大学名誉教授 中邨 章 氏 ほか

出席者：富山 和男、三次 弘史、大瀧愛一郎、小原 明彦、黒部 博英

## 茨城県市議会議長会議員研修会

期 日：平成28年11月15日～16日

場 所：鹿島セントラルホテル（神栖市）

演 題：「議会改革の問題点と処方箋」

講 師：廣瀬 和彦 氏（株）地方議会総合研究所長

出席者：掛札 行雄、武石 寿長、田沢 祐男、小森 敏雄、吉川 美保

## 議員研修会

期 日：平成28年12月16日

場 所：市役所 議会会議室

内 容：「ペーパーレス会議システム（デモ）」

講 師：東京インタープレイ(株) 福吉 稔 氏



実際にタブレットを使用して、ペーパーレス会議のデモ研修



感謝状贈呈



- 平成28年10月28日の茨城県市議会議長会定例会において、会務の運営と地方自治の伸張発展に尽瘁し、市政の向上振興に貢献された功績で、茨城県市議会議長より、感謝状が授与されました。

秋山 信夫 議員



# 議会来訪

## 秋田県大館市議会 会派 平成会



訪問日 平成28年10月18日(火)  
視察内容 (1) 常陸大宮市文書館について  
(2) 佐竹家・大館市との関連史跡等  
について



部垂城跡地に建てられた部垂義元の墓誌を視察し、大宮小学校5年生・6年生の歓迎を受けました。(大宮小敷地内)

本市と大館市とのつながりは、今より約400年前、常陸国を支配していた佐竹氏の秋田国替の際に、佐竹氏と行動を共にした一族の小場義成が1610年に大館城代となったことに由来します。

## 岩手県八幡平市議会 会派 日本共産党

訪問日 平成28年10月25日(火)  
視察内容 空き家対策について



## 福島県矢吹町議会 産業民生常任委員会



訪問日 平成28年11月15日(火)  
視察内容 道の駅整備事業について



## 長野県青木村議会 総務建設産業委員会



訪問日 平成28年11月30日(水)  
視察内容 道の駅整備事業について



## 栃木県那須烏山市議会 経済建設常任委員会



訪問日 平成28年12月22日(木)  
視察内容 道の駅整備事業について





# 連続テレビ小説「ひよっこ」 4月3日から放送



常陸大宮市内でのロケ収録の様

## 第1回定例会会期日程（予定）

月日	曜	会 議	事 項
2月27日	月	本会議	開会、議案説明
28日	火	休会	議案調査
3月 1日	水	休会	議案調査
2日	木	本会議 予算決算常任委員会	議案質疑 補正予算
3日	金	本会議 常任委員会	補正予算(委員会審査報告、討論、採決)
6日	月	常任委員会	
7日	火	常任委員会	
8日	水	予算決算常任委員会	予算審査
9日	木	予算決算常任委員会	予算審査
10日	金	休会	議案調査
13日	月	予算決算常任委員会	予算審査
14日	火	予算決算常任委員会	予算審査
15日	水	本会議	一般質問
16日	木	本会議	一般質問
17日	金	休会	議案調査
21日	火	本会議	委員会審査報告、質疑、討論、採決、閉会

※都合により日程を変更する場合があります。

## 議会を傍聴してみませんか？

傍聴券は、会議の当日に傍聴受付（4階議会事務局）において、先着順により交付します。

傍聴人の定員は30人です。定員を超えた場合は、4階傍聴ロビーのモニターでご覧いただけます。（第4回定例会の傍聴者は延67人でした。）



マスコットキャラクター  
**ひたまる**

## お詫びと訂正

議会広報第48号4ページ上段『財政・まちづくり』の写真の説明に誤りがありました。お詫びして訂正します。

〈誤〉 税務推進室      〈正〉 徴収推進室

発行責任者 常陸大宮市議会議長  
編集 広報広聴常任委員会  
〒319-2292  
茨城県常陸大宮市中富町3135-6  
TEL 0295-52-1111(代) 内線413  
0295-53-0393(直)  
FAX 0295-52-2186  
E-mail gikai@city.hitachiomiya.lg.jp  
URL <http://www.city.hitachiomiya.lg.jp/>  
市議会広報は、ホームページでもご覧になれます。

今年には穏やかな正月を迎えましたが、1月中旬より数年に一度の大寒波が日本列島にかかり、日本海側の各地に大雪警報が出され、厳しい日々が続いております。議会広報は市民の皆様に分かりやすくお伝えするよう、努めてまいります。今後も沢山のご意見ご感想をよろしく願います。

委員 岡崎 欣也

## 編集後記

